



ZENKUREN News Release

全ク連からのお知らせ

2011.05.31

全ク連第 53 回通常総会 開催

平成 23 年度は「復興支援／安全対策／需要拡大」の三本柱で

全ク連は第 53 回通常総会を 5 月 27 日（金）に、ホテルニューオータニ「麗の間」にて開催した。

今年は開会に先立ち 3 月 11 日に発生した東日本大震災の犠牲となった方々へ黙祷を捧げた。

その後、開会式にて青山亨会長は「平成 22 年度を振り返るとかつてない多難な年であった。建築基準法問題については未だ解決に至らず、事業仕分けについてもクリーニング師研修・業務従事者講習制度が俎上に上げられた。研修・講習に関しては、今年度は従来の受講率を倍増することを目標としている。長引く不況の中、全ク連としても最大限の努力を重ねて、更なる発展を期して一層邁進していくので、これからもご協力をお願いしたい」と挨拶を述べ、改めて全国の組合員が大同団結のもと組織を挙げて東日本大震災の被災者への支援を行うとともに、建築基準法や研修・講習の受講率倍増などのクリーニング業界が抱える課題に全力で対処していくとした。

総会では慎重審議を経て、事前に予定した全議案が可決された。平成 23 年度は、「復興支援／安全対策／需要拡大～クリーニング業界の明日のために～」をスローガンに、東日本大震災の復興支援、クリーニング業における安全・安心対策の推進、需要拡大策の推進を 3 本の柱とする。これら上記テーマへの積極的な取組みを通じて組合組織の活性化、拡充に結び付けるとともに、関係機関や組織とも連携・協調してクリーニング業界全体の振興を図っていく。



挨拶を述べる青山会長



出席者全員で、東日本大震災の犠牲となった方々への黙祷を捧げた

また、全ク連事務局長の金子征実理事より東日本大震災の被害状況や支援策、前日に行った第2回理事会で決議された義援見舞金の配分案等についての説明を行うとともに、岩手県組合・古澤淳理事長、宮城県組合・鎌田厚司理事長、福島県組合・竹谷正男理事長より、それぞれ今震災への支援に対する御礼とこれからの再起に向けての決意が述べられた。



岩手県組合・古澤理事長



宮城県組合・鎌田理事長



福島県組合・竹谷理事長

なお、今回の総会では東日本大震災支援企画として総会会場の「麗の間」に続くロビーで被災地の写真等を展示するとともに、出席者には各組合の被災状況に関する資料を配布した。

総会開会前には各組合の理事長をはじめとする多くの出席者が展示写真等を見つめ、改めて被害の甚大さを感じていた。また、展示に合わせて設置していた「クリーンライフ 東北関東大震災支援募金」の募金箱にも「少しでも被災された皆様の窮状を助けることができれば」と、次々に義援金が寄せられた。



多くの出席者が被害の甚大さを実感していた

<問い合わせ先>

担当：全ク連／企画広報課

電話：03-5362-7201